

歴史と伝統がつなぐ 山形の最上紅花

～日本で唯一、世界でも稀有な紅花生産・染色用加工システム～



日本農業遺産

平成31年2月認定

山形県最上川流域地域

山形県最上川流域の紅花生産は、室町時代末期以来約450年の歴史を有しています。

当地域では、古来より紅花と他作物を輪作し、複合的な土地利用を行い、一輪ずつ手作業で収穫し、染色用原料「紅餅」に加工します。栽培から加工までの一連の技術が継承されており、現在でも紅花は地域において重要な位置づけにあります。



地域固有品種「もがみべにばな」

当地域で現在栽培されている紅花の染色用品種「もがみべにばな」は、長い期間かけて選抜・自家採種され、湿潤な気候に適応してきた地域固有の品種です。



トゲが特徴の「もがみべにばな」

気候や地形を活かした経営



生産者は最上川水系の肥沃な土地や豊富な水資源、霧の発生しやすい地形等を生かして紅花を栽培しています。



連作障害回避のため、複数の農作物を組み合わせた複合経営を営み、収益性を高めてきました。

紅花生産・染色用加工システム



伝統的な「紅餅」加工技術



収穫適期の花の摘み取り作業は、トゲが柔らかい明け方に花卉を一輪ずつ手作業で摘み取ります。



摘み取った花びらは江戸時代から継承される伝統的な技術により、染色用原料「紅餅」に加工されます。

紅花に育まれた文化

当地域の「紅餅」は、日本の伝統的な装束や神事に使われる赤色の染色用原料として用いられたほか、19世紀から続く日本古来の化粧紅の原料として現在でも使い続けられています。



米沢織



本紅（口紅用）

日本農業遺産認定による効果

紅花生産の拡大

染色用紅花生産・加工者の維持・拡大

- ・熟練者「紅花マイスター」による新規生産者への技術指導
- ・輪作体系の実証展示圃の設置等、栽培拡大拠点圃の設置や作付け支援による栽培面積拡大
- ・染色用紅花生産・加工者の維持拡大のため、生産工程管理のマニュアルを作成し、技術習得を支援



▲紅花マイスターによる技術指導



▲生産工程管理マニュアル(左)

- 紅花生産者数：118名(H29) → 180名(R7)
- 紅花栽培面積：769a(H29) → 9.9 ha(R7)
- 生産工程管理マニュアル整備：- (H29) → 1件(R7)
- 生産者組織の増加：14組織(H29) → 14組織(R7)

地域振興・魅力発信

染色用紅花の新たな需要先の開拓

- ・耕作放棄地などを活用した鑑賞・観光展示圃場の設置により、紅花を作付けしながら農地を管理する取組みを推進
- ・紅花を使ったお菓子等の商品開発の取組拡大
- ・「乱花」や「紅餅」からとれる紅色素を活用する食品産業との連携や鑑賞用切花を各地のイベントや施設において飾花
- ・紅花の開花・収穫や紅花まつりの時期に直売所施設との連携推進を図り、販路を拡大



▲紅花羊羹(ようかん)



▲直売所と連携した紅花染め体験

- 観光紅花畑の作付面積：4 ha(H29) → 5.2 ha(R7)
- 紅花を利用した商品開発：- (H29) → 1件(R7)
- 新たな需要先の開拓：52社(H29) → 47社(R7)
- 地域直売所との連携：- (H29) → 5件(R7)

次世代への継承

紅花の伝統的文化価値の共有

- ・地域の小中学校における体験学習の機会創出
- ・一般市民向けの紅花栽培体験・染色体験等による紅花文化の普及啓発活動
- ・多様な主体が参加可能な摘み取りボランティアの受入れ体制を作り、収穫時の労働力を確保
- ・小学生向け「紅花栽培リーフレット」の制作
- ・農作業を担う新たな主体の参画につながる農福連携の推進



▲小学生の紅花栽培体験



▲障がい者による花摘み作業

- 紅花栽培の教育場面での活用：- (H29) → 51校(R7)
- 一般向け紅花講座への参加人数：37名(H29) → 6名(R7)
- 摘み取りボランティアの参加人数：178名(H29) → 1,074名(R7)
- 小中学生一般向け冊子作成：- (H29) → 2冊(R7)
- 農福連携による新たな主体の連携事例：- (H29) → 3件(R7)

環境保全

生物多様性を支える仕組みや取組み

- ・紅花交易で隆盛を誇った地域文化財の旧家及びそれを取り巻く紅花畑等観光資源の活用を推進
- ・有用な昆虫類調査による生物多様性の継続的なモニタリング
- ・「もがみべにばな」の優良系統の選抜等、紅花品種の保存と育成した品種の原々種生産の体制を維持する取組を推進
- ・気候変動や生態系の変化に対応するための紅花の遺伝資源を集めたジーンバンクの運営



▲生物多様性モニタリングの様子



▲遺伝資源保存のためのほ場

- 地域文化財を活かした紅花産地の再生：- (H29) → 1か所(R7)
- 有用な昆虫類の生息環境の維持・拡大：7.7 ha(H29) → 9.9 ha(R7)
- 希少な紅花遺伝資源の保存：50種(H29) → 50種(R7)
- 「もがみべにばな」採種・育種環境の整備：1系統(H29) → 1系統(R7)